討論（本議会）

一般会計補正予算（第４号）

反対討論

【加藤亮輔議員】

平成28年度の予算編成の基本方針は、災害復旧・復興、冬季国体の成功、今後の人口減少を防ぎ、持続可能なまちづくりに取り組むものである。また、昨年、人口減少を防ぐための「白馬村総合戦略」も策定した。

来年度のしろうま保育園の未満児入園希望者が、定員34名のところ65名の応募があるにもかかわらず、施設及び保育士の補正予算を計上せず、また、若者の定住対策を重視しない補正予算のため反対。

【伊藤まゆみ議員】

人事院勧告による議員、常勤の特別職の報酬、また職員の給与の増額に対して反対の立場である。この一般会計補正予算（第４号）には、今回の改定による増額分が計上されている。

「住民あっての行政」という立場であるなら、予算がない、財源がないとの言いわけで棚上げされてきている地区要望を１つでも、２つでも実現する方向で予算執行すべき。

賛成討論

【田中榮一議員】

今回の補正予算の内、人事委員勧告に従っての人件費の増額分は、都道府県や市と違い、人事委員会がない村職員にとって重要な改定であり、以前減額改定された時は、人事院勧告に従って準拠してきている。

また、各課から上程された補正予算は、細部にわたり説明を受け、各委員会において、充分な審査を重ねてきたものである。住民のために速やかな事業の執行を目的とした、真に必要な補正予算であることを認めたものである。

総務社会

白馬中学校大規模改修　1億2710万5千円の増額

●工事変更請負契約の締結

白馬ジャンプ競技場ノーマルヒル改修工事で、飛距離判定ビデオカメラ、風向風速計の取付けなどが不要になり、702万円の減額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●工事変更請負契約の締結

白馬ジャンプ競技場ノーマルヒル電気設備改修工事で場内配管配線設備、各種情報処理設備、場内通信設備工事の増工により、766万8千円の増額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

平成28年人事院勧告に伴う改正。期末手当の支給率を0・10月分引き上げるもの。

問　**昨年も人事院勧告に従い引き上げている。他の町村の状況は。**

答　ほとんどの町村は人事院勧告に従っている。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成28年人事院勧告に伴う改正。期末手当の支給率を0・10月分引き上げるもの。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成28年人事院勧告に伴う改正。月例給、勤勉手当の支給率の引き上げ、扶養手当の見直し。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

所得税法等の一部改正に伴うもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村税条例の一部を改正する条例

台湾の金融機関等を通じて、日本国居住者が国内において支払いを受ける一定の利子所得及び配当所得に対し、住民税の所得割を分離課税する規定を定める。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●平成28年度白馬村一般会計補正予算（第４号）所管事項

歳入歳出それぞれ２億６０００万８千円を追加し、予算の総額を69億１５０８万８千円とするもの。

◎総務課関係

道の駅建設地の選定委託料に２１６万円、ふるさと納税事業に１９９８万円の増額など。

問　**建設地の選定委託業者は。**

答　国へ提案するために候補地を選定する必要があり、ヤフーの情報ネットワークをお願いし、調査選定を委託する。

◎税務課関係

固定資産税家屋課税誤りがあり、補償補填及び賠償金と村税還付金及び還付加算金に４７１万９千円の増額など。

問　**家屋課税誤りの件数は。**

答　４件。

◎住民課関係

ごみ分別英語版早見表の作成費に８万３千円。八方新リサイクルセンター測量委託料に75万６千円の増額。

◎健康福祉課関係

老人福祉施設措置費に85万７千円、配食サービス事業委託料に46万４千円。

自立支援給付費に７５０万円、児童福祉給付費に３４２万円。いずれも利用者増加によるもの。保育士１名の退職による２５７万６千円の減